



2017(平成29)年2月号

## 信心獲得

新年を迎え、早くも一カ月が過ぎました。一月は行く、二月は逃げる、三月は去ると言われるように、年明けから三カ月間は時間が経つことが早く感じられるようです。しかし寒い日々は相変わらずで、早く暖かくなってほしいと願うばかりです。

今号は第二五〇号という節目になります。一年で十二回発行していますので、ともしびの歴史はざっと二〇年余りということになります。(途中で号数が重なったということも聞いていますが…)当会館に着任して二年近くになり、最初に発行したのが第二一九号でしたので、数えると二二二号の記事を作ってきました。第三〇〇号が発行される頃には、どんな世の中になっているでしょうか。

さて、宗教に対する信仰心を略して信心と言われています。お寺や神社へ足繁くお参りする方を信心深い人だとか、逆に全くしない人を不信心であると言ったりします。

「信心」という言葉は、このように誤解を招くことが多いのですが、仏教では仏に対する絶対的な帰依という意味なのです。そこで今号では、信心について味わわせていただきます。

本願寺第8代宗主の蓮如上人は、御文章(ごぶんしよう)というお手紙を数多く製作されました。その御文は平易な言葉で書かれており、当時の庶民に大変親しみやすく浄土真宗のみ教えが飛躍的に広まったと言われています。その中に「信心獲得章(しんじんぎやくとくしよう)」があります。

「信心獲得」と聞くと、自分が信心を獲得、また信心を得ると思われるかもしれませんが、それは、この私がおこすところの信心だと思いついで、自分の力をあてにし、たよりにしてしまうことになるのでしょうか。しかし、浄土真宗のみ教えでは、阿弥陀如来のお慈悲のはたらきにおまかせすることを、信心いただくといえます。私が救われるかどうかという心配は、如来が先に願いを起こされ(本願)、成就されていることを、ただ聞かせていただくことなのです。

信心獲得章には、

「煩惱を断ぜずして涅槃を得」  
ぼんのう だん ねはん

というお言葉があります。従来の仏教では、煩惱を断じて涅槃(さとり)を得るという考え方でありました。つまり、さとりへの妨げとなる煩惱をなくすため、苦行を修めるといふものです。しかし、どれだけ苦行を修めても煩惱は消えず、むしろ心身の悩みは増える一方であり、阿弥陀如来のはたらきにまかせてゆく道をお示しになったのが宗祖親鸞聖人であり、先述のお言葉は、「正信偈」の中にある、

「不断煩惱得涅槃」  
ふだんぼんのうとくねはん

という一句を、蓮如上人は御文章としてお示しく下さいました。

どれほどお聴聞し、お育てに出会っても少しも煩惱のなくなるなら私のために、如来のご苦勞があったのだと、また煩惱のあることが、逆に如来のお慈悲をよるこぼせていただく縁になるのでしょうか。これが、信心をいただくということなのです。

# 仏事あれこれ

## 仏事のQ&A

Q. 仏さまに礼拝するときは？

A. お念珠を持ちましょう

仏さまに礼拝する時に欠かせないのが念珠です。数珠とも言いますが、浄土真宗では念珠という言い方が多く用いられています。

ある時、門徒さんから「お念珠の珠の数はいくつあるのですか」と、尋ねられたことがあります。珠の数に何か意味があると思ってるの間違いですよ。

そこで、私は「元来、珠の数は煩悩を断ずることを表す」と聞いていたものですから、とっさに「百八個を基本にして、その約数である五十四、二十七、十八個といった数でしょう」と答えました。



しかし、後で自分の持っている念珠を数えると十九個で、どう割っても百八の約数にはなりません。一般的に使われる単念珠では、数に規定があるわけではなく、あまりこだわらない方がよさそうです。手の大きさに合わせて念珠の輪が作られますから、材料となる珠によってその数も自ずと異なってくるのです。

浄土真宗では、念珠を、煩悩を滅する道具として用いるのではなく、また、読経や念仏の回数をかぞえるために使うものでもありません。ただ、阿弥陀さまに合掌礼拝する時の礼儀として用いているのです。

礼拝する時は、ゆっくり上体を45度ほど曲げて、静かに体を起こします。



『新・仏事のイロハ』より抜粋

## お知らせ

きさらぎ  
如月忌のご案内

期日：平成29年2月7日（火）

時間：13時～16時30分

場所：築地本願寺 和田堀廟所

（住所：杉並区永福1-8-1）

如月忌とは、仏教婦人会の創設や関東大震災の被災者支援など、多くの業績を残された九條武子様のご命日にあたり、そのご遺徳を偲ぶ法要です。九條武子様の生前のご苦勞を偲ばせていただきます。

※法要に参拝される方は、当会館までご連絡ください。

平成29年の年回表  
（ご法要のお申し込みをお忘れなく）

平成29年 年回表	
1周忌	平成28年
3回忌	平成27年
7回忌	平成23年
13回忌	平成17年
17回忌	平成13年
23回忌	平成7年
25回忌	平成5年
27回忌	平成3年
33回忌	昭和60年
50回忌	昭和43年

# 1月行事の様子

★除夜会 12月31日(土) 16時～17時 元旦会 1月1日(日) 7時～9時

今回より除夜会を夕方、元旦会を朝へとそれぞれ時間を変更して行いました。  
寒い中、除夜会には21名・元旦会には18名の皆さまがお参りされました。

除夜会「正信偈（草譜）」



除夜の鐘



元旦会「正信偈（行譜）」



御流杯の儀



互礼会



★御命日法座・新年会 1月15日(日) 13時～17時

宗祖親鸞聖人の御命日にあたり法座を開催いたしました。法要「正信念仏偈」  
ご講師・松本智量師にご法話いただき、33名の皆さまがお参りされました。

法要「正信念仏偈作法」



松本智量師



新年会



1等



2等



3等



新年会には松本先生も  
ご臨席いただきました。  
お楽しみ抽選会では、1等  
～3等までの豪華景品を  
はじめ、参加の皆さまと大  
いに盛り上がりました。

## ▶ 2月の行事予定

### 如月忌参拝

**2月7日(火) 午後1時～**

九條武子さまのご命日にあたり、  
墓所のある和田堀廟所でお勤めされます。

### 常例法座

**2月12日(日) 午後1時～**

ご講師 柏倉 学法師  
(千葉県 真宗寺)

お気軽にお参りください。



### 親鸞聖人御命日お晨朝総参拝

**2月16日(木) 午前7時～**

月に1度、朝のお勤めにお参りしませんか?  
お供物のおさがりをプレゼントいたします。

## ▶ 3月の行事予定

### 東日本大震災7回忌法要

**3月11日(土) 午後2時46分～**

今年で7回忌法要となります。  
震災によって亡くなられた方々の追悼  
法要をお勤めいたします。

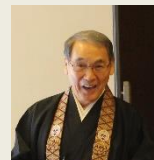
### 春季彼岸会

**3月20日(月) 午後1時～**

ご講師 山崎 龍明師

(東京都 法善寺)

心に彼岸(お浄土)を思い、  
お聴聞いたしましょう。



### 第4回キッズサンガ子ども会

**3月25日(土) 午前10時～**

小中学生対象です。小さなお子さまは、  
保護者同伴でご参加ください。

東久留米会館会報 「ともしび」  
第250号

発行日 2017年2月1日

発行者 安邊 泰教

住所 東京都東久留米市柳窪5-8-30

電話 042-474-6787

### 編集後記

先日、家族4人で初めて東京ディズニーランドへ行きました。真冬の平日にもかかわらず、多くの人で賑わっていました。長女は張り切っているようなアトラクションを楽しんでいました。1才の長男は疲れた様子で寝てしまいました。

さすが夢の国といわれるだけあって、現実を少し離れて気分もリフレッシュできたように思います。(安)

今月のお仏飯米のご進納

山下 肇様 新堀 栄介様  
中村 修子様

ありがとうございました。